



F★★★★適合商品

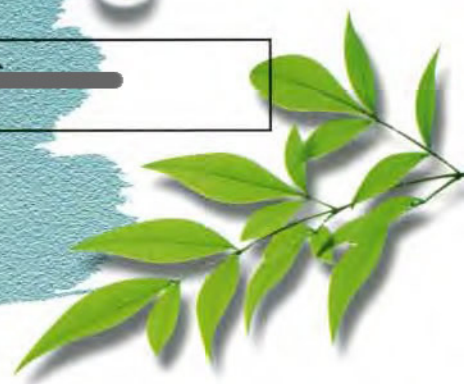
ボース エポールCRF #1000

強化モルタル塗床舗装材

(製造中止) ~~ボース~~

~~アタックコート~~

~~滑り止め薄層舗装材~~



ボース エポール CRF#1000

エポキシ樹脂系エポールの開発以来多くの分野で御使用頂き、その性能は今日まで高く評価されてまいりました。当社では更に時代の要求に応え、新しくエポールCRF#1000を開発しました。

エポールCRF#1000はエポキシ樹脂の持つ優れた特性を十分に考慮し、強度と耐久性を有し、なお環境安全の改善に役立つエポキシ樹脂レジンモルタル塗床舗装材です。従来使用されている樹脂モルタルに比較して特に作業性を大幅に改良した製品です。

エポールCRF#1000の特長

1. 機械的強度に優れており、特に耐摩耗性と滑り止め効果が良好です。
2. 耐酸、耐アルカリ等耐薬品性に優れています。
3. 耐水性が良く耐海水にも強靱です。
4. 作業性が良好で作業能率を高め経済的です。
5. 低温時高温時に対しても安定しています。

エポールCRF#1000の用途

- 一般工場、食品加工工場、厨房、駐車場、倉庫、市場、船舶デッキ、港湾関係等の床

仕様

- 調合は、規定量に基づき、正確に計量して下さい。(重量比)
- 攪拌は、電動攪拌機、モルタル・ミキサーを使用して下さい。
- 混合攪拌後は、可使時間内に塗布して下さい。
- 調合は珪砂4号をモルタル・ミキサーで空練りし、次に主剤と硬化剤を充分混合攪拌し、モルタル・ミキサーに少しずつ混入し良く混ぜ合わせる。

■ 可使時間

夏用25℃～35℃	春秋用15℃～25℃	冬用5℃～15℃
20分	30分	40分

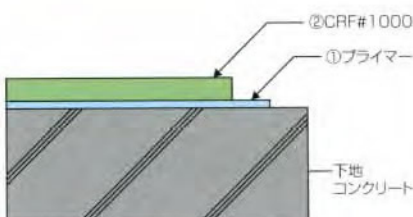
標準工法

CRF-50工法

- ① 下地の凹凸やクラック部分はエポキシパテ等を用いて補修し、油分やゴミ等は完全に除去し充分に乾燥させて下さい。
- ② プライマーを規定量配合、よく攪拌し、むらなく全面に塗布して下さい。
- ③ ②が指触乾燥後エポールCRF#1000と珪砂4号を混ぜ合わせ金ゴテで平滑に塗りつけて下さい。

CRF-50工法m²当り使用量

種別	使用量(kg)	膜厚(m/m)
プライマー	0.15~0.25	5
CRF#1000	9	

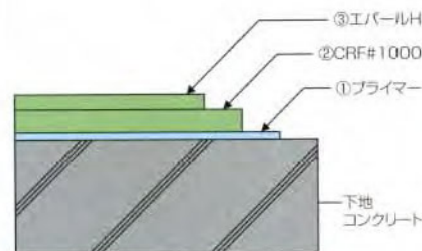


CRF-H50工法

- ① 下地の凹凸やクラック部分はエポキシパテ等を用いて補修し、油分やゴミ等は完全に除去し充分に乾燥させて下さい。
- ② プライマーを規定量配合、よく攪拌し、むらなく全面に塗布して下さい。
- ③ ②が指触乾燥後エポールCRF#1000と珪砂4号を混ぜ合わせ金ゴテで平滑に塗りつけて下さい。
- ④ ③が硬化後エポールHを規定量ローラーで塗布して下さい。

CRF-H50工法m²当り使用量

種別	使用量(kg)	膜厚(m/m)
プライマー	0.15~0.25	5
CRF#1000	9	
エポールH	0.4	

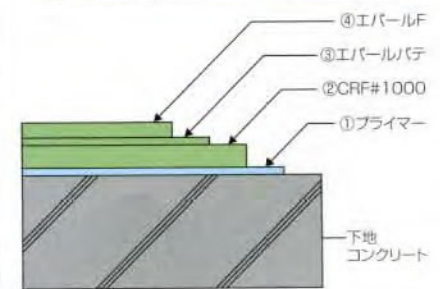


CRF-F50工法

- ① 下地の凹凸やクラック部分はエポキシパテ等を用いて補修し、油分やゴミ等は完全に除去し充分に乾燥させて下さい。
- ② プライマーを規定量配合、よく攪拌し、むらなく全面に塗布して下さい。
- ③ ②が指触乾燥後エポールCRF#1000と珪砂4号を混ぜ合わせ金ゴテで平滑に塗りつけて下さい。
- ④ ③が硬化後エポールパテを規定量ゴムベラ等でしごき塗りして下さい。
- ⑤ ④が硬化後エポールFを規定量塗布して下さい。

CRF-F50工法m²当り使用量

種別	使用量(kg)	膜厚(m/m)
プライマー	0.15~0.25	6.2
CRF#1000	9	
エポールパテ	0.3	
エポールF	1.2	



※CRF-30工法、CRF-H30工法、CRF-F30工法は、CRF-50工法、CRF-H50工法、CRF-F50工法に準ずる。
 ※ノンスリップ工法、その他特殊工法は別途お問合せ下さい。

エパールCRF#1000の1㎡当り標準施工量

施工厚サ (m/m)	主剤・硬化剤 (kg)	骨材 (kg)	合計 (kg)	混合比重
3	0.9	4.5	5.4	1.8
5	1.5	7.5	9	1.8

■物性

性状	無溶剤型エポキシ樹脂
比重	1.8
可使時間(20℃)	20分
硬化時間(20℃)	5時間
完全硬化(20℃)	5日
標準厚み	3~7mm
圧縮強度	83N/mm ²
曲げ強度	31N/mm ²
接着強度	鋼板4.9N/mm ² / コンクリート2.5N/mm ²
衝撃試験	3kg鋼球を240cmの高さより落下で異常なし
低温衝撃試験	-30℃で2kg鋼球を240cmの高さより落下で異常なし
耐温度性	-20℃=3時間、70℃温水=13時間、10サイクルで異常なし
耐摩耗試験	摩耗減量0.18g(250g/1000回転) JISK7204に準ずる
沸騰水試験	2時間で異常なし

プライマー	主剤(kg)	硬化剤(kg)	配合比(重量比)
EPプライマー (一般用)	8	8	1:1
	4	4	
EMプライマー (湿潤面用低臭タイプ)	8	8	1:1
	4	4	
EWプライマー (無機系硬質床・特殊下地用)	12	1.5	8:1
	4	0.5	

エパールCRF#1000の荷姿

- 主剤 —— 4.5kg入
- 硬化剤 —— 1.5kg入

■耐薬品性試験

(試験法)厚さ3mm、50mm×75mmのスレート板にエパールCRF#1000を塗布し7日間養生後、20℃の薬品液体の中へ7日間浸漬し塗膜の状況を調べた。

灯油	○
ガソリン	○
マシン油	○
重油	○
塩酸(5%)	○
硫酸(5%)	○
酢酸(5%)	○
苛性ソーダ(5%)	○
アンモニア水(5%)	○

※試験結果異常なし



エパールCRF#1000の標準色



E-10 グレー



E-20 ライトグリーン



E-30 グリーン



E-40 ベージュ



E-50 ライトブラウン



E-60 ブラウン

●この見本は印刷ですので、実物と異なる場合があります。

ボースアタックコート

簡単仕上げのノンスリップ材として開発した商品で、骨材が既調合になっているため、耐摩耗性が良く、均一で美しいノンスリップ仕上げになります。(特に耐摩耗性が要求される場合は特殊骨材を配合できます。)
又各種下地への接着性が良く、特に水廻りの場所での新築・改修工事に最適です。

アタックコートの特長

1. 耐摩耗性が良い。
2. ノンスリップ仕上げが簡単にできる。
3. 接着力が強い。
4. 低臭である。
5. 作業性が良い。

アタックコートの用途

- 学校、公園、病院、マンション、駐車場の美装防滑仕上げと各種工場、厨房のノンスリップ仕上げ

仕様

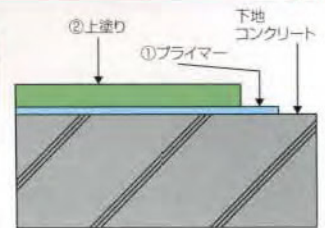
- 調合は規定量に基づき、正確に計量して下さい。(重量比)
- 混合攪拌後は、可使時間内に塗布して下さい。
- 攪拌は電動攪拌機を使用して下さい。
- 換気に注意し、通気性を良くする。
- 攪拌はまず主剤のみを良く攪拌し、次に硬化剤を主剤に入れ良く攪拌して下さい。(湿度管理ができる場合、低湿度に保つ)

標準工法

AT-1工法

AT-1工法m²当り使用量

種別	使用量(kg)	膜厚(m/m)
プライマー	0.15~0.25	1
上塗り	1.65	



- ①下地の凹凸やクラック部分はエポキシパテ等を用いて補修し、油分やゴミ等は完全に除去して下さい。
- ②プライマーを規定量配合、よく攪拌し、むらなく全面に塗布して下さい。
- ③②が指触乾燥後アタックコートを規定量配合し金ゴテで均一に塗布する。

アタックコートの荷姿

- 主剤 —— 12kg入 6kg入
- 硬化剤 —— 8kg入 4kg入

耐薬品性試験結果

薬品名	結果		
5%塩酸	◎		
5%硫酸	◎		
5%酢酸			△
5%苛性ソーダ	◎		
5%アンモニア水	◎		

強度試験結果

項目	アタックコート	
	モルタル	モルタル破壊
接着力強度試験	2.0N/mm ²	モルタル破壊
	4.9N/mm ²	—————
	4.9N/mm ²	—————
耐屈曲性試験	13mmφ50屈曲(亀裂、剥離現象なし)	
凍結安定性試験	{ 70℃…2時間 20℃…2時間 -20℃…4時間 (20℃…1時間自然放置) } 1サイクルとして、 4サイクル試験をした 結果、異常は認められ なかった。	
塩水噴霧試験	200時間 異常なし	
耐水性試験	水道水浸漬 3ヶ月間 異常なし	
耐油性試験	マシン油	良
	重油	良
	灯油	良
	ガソリン	良

アタックコートの標準色



E-10



E-20 ライトグリーン



E-30 グリーン



E-40 ベージュ



E-50 ライトブラウン



E-60 ブラウン

●この見本は印刷ですので、実物と異なる場合があります。